

(別添資料1)

事業所名 放課後等デイサービス こどもくらぶキジマール

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

2 日

法人（事業所）理念		【すべての子らを世の光に】を理念に支援しています。		
支援方針		○自立へ向けて小学生から18歳までの利用者様の一貫した療育支援をします。 ○利用者様と保護者様の気持ちに寄り添い、安心して過ごせる環境及び社会的自立の形成を育むプログラムの提供を通して、お子様の成長をサポートします。 ○四季折々のイベントやお出かけなどさまざまな経験値を高めて、楽しい時間を共有＆共感しあい仲間意識を育みます。		
営業時間		平日（学校登校日）：10時～18時 祝祭日・長期休み：9時～17時	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活 （活動・支援例）	○心身の健康状態を把握します。 ○基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や物の管理ができるように支援します。 ○生活習慣・生活リズムを身に着けるように支援します。 （健康チェック、スケジュール確認、日常生活動作にかかわる支援（手洗い、排泄、身だしなみや清潔）、クッキングを通して食を営む力を育む、持ち物管理、マナーやルール等）		
	運動・感覚 （活動・支援例）	○運動や遊びを通して、体の動かし方や手先の使い方のコツを伝えます。 ○子ども自らの感覚特性（過敏や鈍麻）や運動能力を知ることで日常生活をより快適に過ごせるように環境調整を行いながら支援します。 ○疲れの調整や動きやすい姿勢の習得を図ります。 （公園の遊具遊び・鬼ごっこ遊び・スライムや粘土（感覚遊び）、感覚の感じ方（敏感・鈍感）への配慮、好ましい姿勢、製作活動での道具の扱い方、力や疲れなどの視覚化等）		
	認知・行動 （活動・支援例）	○自分の気持ちや行動に気づいて、適切な行動ができるように支援します。 ○自分の得意な事や苦手な事を知り、自己理解をしていくことを促します。 ○空間・時間の概念の形成を図ることにより、見通しを持った自主的な行動に繋がります。 （集団活動、スケジュールや手順の掲示、自分で見て確認・行動することの促し、クッキング、概念形成、学習の促し、図書館での過ごし方等）		
	言語 コミュニケーション （活動・支援例）	○具体的な事柄や言葉の意味を結びつけることにより、言葉の習得や自発的な発声を促す支援を行います。 ○自分の思いや要求の相手への伝え方、場面や相手の状況に応じた適切なやり取りを促します。 （挨拶、発声の促し、帰りの会の司会、楽しかった事の発表、誕生会でのインタビュー、カード遊び、自分の気持ちを言葉にする事等）		
	人間関係 社会性 （活動・支援例）	○自分の感情・気持ちのコントロールができ、安定した情緒を図ります。 ○他者との関わり（人間関係）、適切な行動、社会に適するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 ○集団でのルール等を理解し、周囲との調和を図りながら、仲間づくりに繋がるよう支援します。 （勝敗などのある集団活動、ソーシャルスキルトレーニング、友達とのやり取り交渉、気持ちのコントロール、行動を認めて自信に繋げる等）		
家族支援		保護者様の困り感や不安が軽減出来るよう、さまざまな視点から必要に応じて関係機関との連携を図ります。負担軽減を目的としたレスパイトケアの提供など、安心した暮らしの実現のためにご家族様へも寄り添い相談援助を行います。	移行支援	○学童や学校、併用利用先との情報共有を行いながら連携＆支援をしています。又利用者様の意向を第一により良い方法を考え、スムーズに移行できるよう事業所間で連携し利用者様の安心した未来への提案を行います。
地域支援・地域連携		地域の福祉事業所と情報交換を行い（やえま～るへ参加）、連携や情報収集など、利用者様が地域で育ててもらえるよう地域行事への参加なども積極的に行います。また、学生ボランティアの受け入れなども行っています。	職員の質の向上	○法定研修・事業所内研修・療育支援・制度・5領域に関する勉強会を実施しています。 ○現場での実践とフィードバック。職員間のコミュニケーション強化を図っています。
主な行事等		進級やお誕生日・こどもの日・お楽しみ会等の祝い事・公共交通機関体験・お買い物体験・食育・調理体験・地域のイベント参加・地域公共施設での活動・夜まで遊ぼう会・ハロウィンパーティーやクリスマス会、避難訓練など多数実施しています。		